

作成日 2024年 7月 31日

(臨床研究に関するお知らせ)

出血性脳血管障害(脳出血・くも膜下出血)で入院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における出血性脳血管障害についての臨床的特徴と治療に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座 助教 中西 陽子

3. 研究の目的

近年、脳出血やくも膜下出血といった出血性脳血管障害に関して新たな治療方法が開発されてきています。高齢化が進むとともに変化している患者背景に即し神経内視鏡手術などの低侵襲な治療が用いられるようになり注目されていますが、治療方法と治療効果に関する情報の蓄積が望まれています。将来的に出血性脳血管障害の予後を更に改善させることを目指し、今回の研究では当院において出血性脳血管障害のために入院加療を要した方の情報を分析し、最適な治療法の選択や予後予測のための因子を検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

出血性脳血管障害(脳出血・くも膜下出血)の患者さんで、2011年5月1日から2024年7月31日までの期間中に、入院加療を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～5年間

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、過去の診療録から年齢や性別、既往歴、常用薬、病名、臨床症状、血液検査結果、画像検査結果、生理検査結果、治療方法、治療後の経過に関する情報です。

(5) 方法

臨床的特徴や検査結果、治療方法、経過・予後など複数の項目についての関係を分析検討します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学脳神経外科学講座

担当者：中西 陽子

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0609 FAX：073-447-1771

E-mail：yknknsh@wakayama-med.ac.jp